

2025年度 学校評価公表シート

安田幼稚園

評価の仕方…保護者の評価：保護者アンケートの4段階評価を平均にしたもの

自園の評価：各クラス・学年で成果が見られた子どもの割合を示し、(※)と照らし合わせ表記したもの

(※) 80%以上…4 60%～79%…3 40%～59%…2 40%未満…1 回収率：100%

4…そう思う　3…やや思う　2…あまり思わない　1…思わない					自園評価		保護者評価		
					学年	総評	学年	総評	
重点目標（４つの柱を通してやさしくつよい安田っ子の育成を目指して）	あいさつ	年少	遊んだ後の片付けをする指導を行っている			3.7	3.7	3.9	3.8
		年中	自分が使った物を片付けたり道具棚を整理整頓したりする指導を行っている			3.5		3.8	
		年長	使った物や遊んだ場所を友達と一緒に片付ける指導を行っている			4		3.8	
		全学年	生活習慣の定着を目指す指導を行っている			3.7		3.8	
	友達いっぱい	年少	先生や友達と一緒にいろいろな運動遊びをやってみようとする指導を行っている			4	3.7	3.9	3.8
		年中	戸外で進んで体を動かして遊ぶ指導を行っている			4		3.8	
		年長	目標をもって運動遊びに取り組み、自分の課題をクリアしようとする指導を行っている			3.5		3.8	
		全学年	クラスや学年の友達に親しみをもち、いろいろな友達と関わりもてる指導を行っている			3.2		3.7	
	自然のかわり	年少	飼育物や身近な生き物に親しみをもち指導を行っている			4	4	4	3.9
		年中	身近な生き物に関心をもって見たり触れたりする指導を行っている			4		3.9	
		年長	身近な生き物への親しみをもち、優しく触れたり世話をしたりする指導を行っている			4		3.8	
		全学年	自然体験（収穫体験、栽培など）は、自然への関心をもつ体験となっている			4		3.9	
	おはなし広場	年少	先生の話喜んで聞く指導を行っている			3.3	3.6	3.9	3.8
		年中	目を見て人の話を聞く指導を行っている			3.5		3.8	
		年長	先生や友達の話に興味や関心をもち最後まで聞く指導を行っている			4		3.7	
		全学年	絵本の貸し出しや日々の読み聞かせと「おはなし広場」は絵本が好きになる体験となっている			4		3.9	
			話す力、考える力を育む指導を行っている			3		3.7	
			英語の時間やネイティブの先生との触れあいは、英語に親しむ体験となっている			3.7		3.8	
	保護者との連携	年少	おやくそく表の取り組みは、たくましい力の育成につながっている				3.7	3.6	3.4
		年中						3.4	
年長		3.2							
保育便りやクラスだより、クラス懇談は分かりやすい内容となっている			3.3		3.8				
ホームページ(ブログ・イベントフォト)やインスタグラムは、園の情報や園児の様子が分かりやすい内容となっている			3.3		3.8				
安全	防災・防犯に関する訓練や教育は、子どもの防災・防犯意識につながっている			3.8		3.9			
	園の防災・防犯管理は十分である（備蓄・避難訓練・正門警備・オートロック・防犯カメラによる監視 など）			4		3.8			

※園の防災・防犯管理に関する項目は、職員の所見に基づき総合的に判断したもの

2025 年度 学校評価アンケートのご報告

保護者の皆さまには、今年度の学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。提出率 100% という大変ありがたい結果となり、すべてのご家庭のご意見を保育の振り返りに生かすことができました。

以下に、各項目の結果と本年度の取り組み、今後の方向性をまとめてご報告いたします。

○ 4つの柱の重点目標について

- ・ 4つの柱に関する保護者評価の総評は 3.8～3.9 の評価をいただいた。年少にとっては初年度ではあるが、年中・年長は昨年度に引き続き同じ項目を設定して指導してきたことが、子どもの育ちに繋がっていると評価結果からうかがえる。
- ・ 「心通うあいさつ」の項目では、保護者評価は「3.8」、自園評価は「3.7」評価であった。あいさつや日常生活における基本的な習慣を身に付けるには、個人差を考慮しながら根気強い働きかけが必要であり、片付けや整理整頓などが短期間で習慣化されるものではないことも評価結果からうかがえる。今後も年齢に応じた指導方法を工夫し、園生活の中で自然と身につくよう、園と家庭が連携しながら継続的に丁寧な指導を行っていく。
- ・ 「友達いっぱい」の項目では、保護者評価は「3.9」と高かったが、自園評価は「3.7」であった。園で取り組んできたことや子どもたちの成長は一定程度評価されているものの、運動遊びに対する意欲には個人差が見られる。今後は、一人一人が「できた」「やってみたい」と感じられる経験を積み重ねられるよう、関わり方や活動内容をより工夫していく。また、苦手意識をもつ子どもが興味を示し、取り組み始めるきっかけを見逃さず、自信へとつながるよう丁寧に指導していく。
- ・ 「自然とのかかわり」の項目は、保護者評価が「3.9」である一方、自園評価は「4」と高く、園として一定の成果を実感している。栽培や収穫、生き物の観察や飼育活動、四季の移ろいに触れる体験を積み重ねる中で、子どもたちの興味や関心が深まり、日常の中で自然を感じ取る姿も多く見られた。今後は、栽培や観察活動をさらに充実させ、四季や生き物に親しむ体験を広げるとともに、活動の様子やねらいを分かりやすく発信し、子どもたちの好奇心や探求心をより確かに育んでいく方針である。こうした取り組みや子どもたちの姿が保護者へ伝わっていなかったことを課題として捉え、情報発信の工夫を進めていく。
- ・ 「おはなし広場」の保護者評価は「3.8」、自園評価は「3.6」であった。読み聞かせを通して想像力や共感する力が育ち、子ども同士の会話も豊かになっている。一方で、年長児の「話す力」「考える力」はさらに深めたい課題として捉えている。意見を共有したり友だちの話を聞いたりする“対話の場”を増やし、表現力と思考力の育ちを支えていく。また、読み聞かせでは集中の個人差が見られるため、絵本を楽しめる雰囲気づくりや内容の工夫を継続していく。年長児については、グループ活動などを通して力を育ててきたが、より効果的な活動を引き続き模索し、保育に生かしていく。

○ 保護者の皆さまとの連携

- ・ 園だより・ホームページ・SNS を通した情報発信は、多くの保護者に分かりやすいと評価された。「おはなしメール」と併せて園での様子を伝えることで、ご家庭での会話にもつながったと考えられる。来年度も、写真・動画を活用した分かりやすい情報発信をより進めていく。また、園での活

動や子どもたちの育ちをできるだけタイムリーに共有し、家庭との連携がより取り組みやすくなる支援方法を工夫していく。

○ 安全対策について

- ・ 年間を通して、防災訓練や不審者対応訓練を実施してきたことで、安全対策については引き続き高い評価をいただいている。職員間でも緊急時の動きを確認し合い、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めている。今後も、設備の点検や避難訓練の見直しを継続し、安全な園生活を確保していく。

○ まとめ

- ・ 4つの柱を中心とした日々の取り組みが、子どもたちの成長につながっていることが、各学年の反省や保護者アンケートから確認できた。一方で、生活習慣や聞く力、生き物への関心の個人差、英語活動の見える化など、次年度に向けて取り組むべき課題も明確になった。課題が明確になったことで、今後はより効果的な指導につながる具体的な改善方策を検討し、教育の質をさらに高めていく必要があると感じている。
- ・ 次年度も、園と家庭が連携しながら、一人ひとりの育ちを大切にした保育を進めていく方針である。現状に満足することなく、より質の高い教育・保育を目指して取り組んでいく。